

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室そらまめキッズはらら		
○保護者評価実施期間	令和 6年 11月 12日	～	令和 6年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和 6年 11月 12日	～	令和 6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6年 12月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・スタッフ間での利用者の情報共有	・支援をされていて難しいと感じた時には積極的にスタッフが声をかけてケア会議を行っている。	・2か月に1回ぐらいの頻度で、全員のケア会議が定期的に実施されるようにしていく。
2	・保護者との定期的な面談の実施	・保護者送迎であるので送迎時に保護者から相談などがあれば実施している。またペアレントトレーニングも2ヶ月に1回ほど実施し保護者が学べる機会を作っている。	・保護者の偏りなく全員の保護者が相談しやすい環境を作っていく。
3	・利用者に応じたホームワークや自宅での般化への取り組み	・ホームワークを開始する前にホームワークの説明を丁寧に行い、支援ごとに家庭での取り組みの確認をしている。	・保護者も利用者も積極的にホームワークや支援の般化を取り入れてもらえるように支援の共有を行っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他事業所、学校、幼稚園、保育園との連携が難しい。	・支援を行っている時間は見学に来ることが難しいと言われることが多い。	・長期休暇などを使って積極的に支援の見学に来ることができる体制を作っていく。
2	・利用人数、振り替え人数に制限が出てしまう。	・事業所の広さ、駐車場の台数に限りがあり振り替え人数に制限が出てしまう。	・利用者が気持ちよく利用できる環境の設定が必要と考える。
3	・少人数での活動になるので、集団活動は大型イベント時等に限られてしまう。	・個別支援へのニーズが高いため、イベントなどの実施が少ない。	・集団活動確保のため、年数回大型イベントを開催し、集団の場を設けている。頻度自体は少ないので、今後もう少し回数を増やせるよう検討していく。定期的に家族参加型のイベントを行っていく。